

令和6年度 山形県立楯岡特別支援学校

校長室だより

令和6年12月19日(木)

No.6

校長: 古原 常 能

2学期も「げんき・チャレンジ・なかま」を合言葉に

楯岡校小学部

ゲストティーチャーを迎えて
陶工体験をしました



楯岡校中学部

村山産業高校との交流活動
ボッチャも盛り上がりました



楯岡校高等部

後期の現場実習報告会
後期は1年生も実習しました



寒河江校小学部

開校10周年記念行事として
動物とのふれあい体験



大江校中学部

大江校祭で、歌、演奏、ダンス
を発表しました



大江校高等部

新幹線に乗り東京方面へ
修学旅行に行きました



担任を中心に学部全体で子供たちの教育に当たっています！

今年度、楯岡校や大江校では担任が長期の休みに入り、保護者の皆様にはご心配をおかけしております。山形県は多くの学校で50歳以上の先生が半数を占めます。また、特別支援学校には子育て世代の先生もたくさんおられます。先生自身が治療に専念しなければならないこと、親の介護や子供の看護などで休まざるを得ないこと等をご理解くださるようお願いいたします。

また、特別支援学校は、各地域において特別支援教育に関わるセンター的機能を発揮することが、法律に規定されています。幼稚園や保育所、小学校や中学校、高等学校等の要請に合わせて先生を派遣し、巡回指導を行っています。県教育センターの研修会や各学校の授業研究会の講師として先生を派遣することもあります。加えて、特別支援教育に関わる専門性を高めるため、外部の研修会等に先生を派遣することもあります。

このように、担任の先生が年休や出張等で不在になることが多いのですが、どうぞご安心ください。楯岡特別支援学校では、日常的にチームティーチングを行い、担任以外の子供たちの指導にも関わっています。担任が、年休や出張等で不在となる場合は、同じ学部の先生方で指導体制を組むことができます。もし、複数の先生が不在となる場合は、教務主任や教頭先生も指導に加わります。私たちの大切な児童生徒を教職員みんなで力を合わせ育ててまいります。